

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2011年6月)

発表日2011年8月10日(水)

～3ヶ月連続上昇で震災前水準をほぼ回復～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 星野 卓也

T E L : 03-5221-4526

(単位: %)

		第3次産業活動指数		電気・ガス・ 熱供給・水道 業	情報通信業	運輸業、郵便 業	卸売業、小 売業	金融業、保険 業	不動産業、物 品賃貸業	学術研究、専 門・技術サー ビス業	宿泊業、飲食 サービス業	生活関連 サービス業、 娯楽業	学習支援業	医療、福祉
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比
10	1-3月	0.7	0.8	3.1	▲1.2	2.2	0.1	1.0	0.0	▲0.9	1.0	0.0	▲1.1	0.8
	4-6月	0.4	1.4	▲0.2	2.7	▲0.2	0.8	0.5	▲0.1	▲1.7	▲0.3	▲0.8	▲0.5	1.8
	7-9月	0.6	1.8	1.9	▲0.4	0.5	1.2	▲0.9	▲0.2	1.5	1.7	0.4	1.6	0.7
	10-12月	0.3	1.6	▲3.0	1.1	0.0	0.8	0.6	▲0.6	▲1.2	0.3	▲1.4	0.5	0.6
11	1-3月	▲1.4	▲0.1	2.1	▲4.2	▲1.3	▲1.6	0.1	▲0.5	1.5	▲3.7	▲6.8	▲0.7	1.8
	4-6月	▲0.1	▲0.6	▲5.4	2.7	▲0.6	▲0.3	▲1.8	▲0.3	1.2	▲0.3	0.4	▲2.1	▲0.1
10	1月	1.9	0.2	1.8	1.6	2.3	2.2	0.6	0.4	2.6	0.1	0.0	▲0.4	1.3
	2月	▲0.4	0.4	1.0	▲0.6	▲0.2	▲0.4	▲1.7	▲0.3	0.2	0.4	▲0.4	▲1.1	▲0.4
	3月	▲1.1	1.9	▲0.3	▲6.9	0.5	▲3.1	2.5	0.0	▲1.8	0.4	0.1	▲0.9	0.0
	4月	1.6	1.9	0.8	8.2	▲0.4	3.3	0.3	0.2	▲0.9	0.2	▲0.4	0.4	1.5
	5月	▲0.3	1.2	▲2.0	0.3	▲0.1	▲0.7	▲0.7	▲0.4	0.2	▲1.2	▲0.4	0.3	0.5
	6月	0.1	1.0	0.8	▲1.3	▲0.2	0.6	▲1.2	0.3	0.6	▲0.4	0.3	▲0.2	0.5
	7月	0.7	1.6	1.1	0.9	0.9	1.0	▲0.1	▲0.2	3.8	2.5	▲0.4	2.0	0.0
	8月	0.1	2.3	2.7	▲0.1	▲0.3	0.5	0.4	▲0.1	▲3.8	0.0	2.2	0.2	0.4
	9月	▲0.4	1.3	▲2.1	▲1.6	▲0.1	▲0.8	▲0.2	▲0.2	▲0.6	▲0.2	▲2.2	▲1.2	▲0.2
	10月	0.2	0.5	▲2.6	1.9	▲0.3	0.3	0.3	▲0.3	0.2	0.7	0.0	1.4	0.4
	11月	0.6	2.5	0.2	0.6	0.9	1.4	▲0.1	▲0.1	1.2	▲1.2	▲1.6	▲0.4	0.3
	12月	▲0.2	1.8	0.0	0.0	▲0.4	▲0.6	1.0	0.0	▲1.4	1.7	1.0	0.5	0.2
11	1月	▲0.1	1.1	4.3	▲1.0	0.4	0.2	▲1.9	0.0	1.0	▲0.8	▲1.0	0.5	1.3
	2月	0.8	2.0	▲1.7	▲0.5	1.1	1.8	2.3	0.1	3.7	1.3	▲0.3	▲1.6	0.8
	3月	▲5.9	▲3.1	▲3.5	▲9.4	▲7.2	▲8.9	▲0.5	▲1.8	▲4.1	▲12.9	▲17.0	▲1.4	▲0.7
	4月	2.7	▲2.3	▲2.7	9.9	3.7	2.7	▲2.6	0.0	3.6	6.1	8.0	▲0.5	0.2
	5月	0.8	▲0.3	0.2	▲0.7	▲0.9	2.6	0.2	1.7	▲2.6	4.1	6.4	0.4	▲0.5
	6月	1.9	0.8	0.3	1.7	3.1	2.9	1.0	▲0.8	2.7	0.1	4.2	▲1.3	0.7

(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

○第3次産業活動指数は3ヶ月連続で上昇

6月の第3次産業活動指数は前月比+1.9%と、コンセンサス（同+1.0%、レンジ：同+0.2%～+1.6%）を大きく上回る結果となった。また、四半期ベースでは前期比▲0.1%と若干のマイナスとなった。

主要13業種のうちプラスに寄与した業種は卸売業、小売業（前月比寄与度+0.71%ポイント）、運輸業、郵便業（同+0.28%ポイント）、生活関連サービス業、娯楽業（同+0.20%ポイント）、情報通信業（同+0.18%ポイント）などの10業種、マイナスに寄与した業種は不動産業、物品賃貸業（同▲0.07%ポイント）、学習支援業（同▲0.01%ポイント）などの3業種であった。

震災の影響を受けて急落した第3次産業活動指数は4月以降3ヶ月連続で上昇、順調な回復を見せ、震災前の水準をおおよそ回復した。特に今月は主要13業種のうち10業種で前月比プラスとなり、多くの分野で景気が持ち直していることを示す結果となっている。

○家計部門、企業部門ともに上昇

第3次産業活動指数のうち、それぞれ家計と企業の活動に関連が深い業種を取り出してみると、家計部門¹が前月比+1.7%、企業部門²が同+2.4%とともに上昇した。家計部門では、先月に引き続き自動車販売が持ち直したことから自動車小売業（前月比+8.7%）、扇風機やLED電灯などの節電需要や地デジ対応に向けたテレビの駆け込み需要を受けて機械器具小売業（同+12.0%）が高い伸びとなり、小売業（同+3.6%）全体

¹ 映像・音声・文字情報制作、旅客運送業、小売業、不動産取引業、住宅賃貸業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、学習支援業、生活関連サービス・娯楽業

² 情報サービス業、貨物運送業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、卸売業、貸事務所業、物品賃貸業、自動車賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業

を押し上げた。また、娯楽業（同+5.4%）も前月比プラスとなっており、引き続き自粛ムードが緩和されたことが伺える。

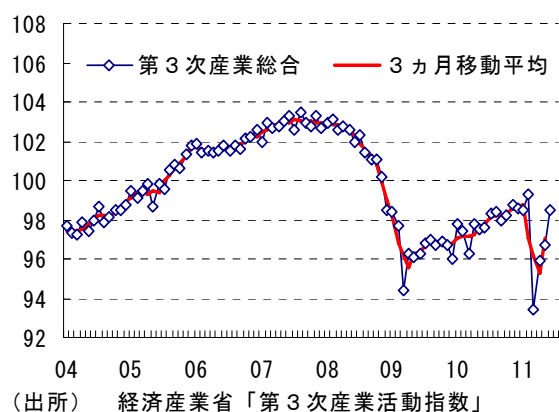
一方企業部門では、先月に続いて卸売業（同+2.8%）が上昇したほか、貨物運送業（同+3.5%）がプラスに寄与した。自動車や電気機械などの生産や輸出の回復を背景に、附随する輸送サービスも持ち直したものと考えられる。

○回復基調は続くが見られるが、8、9月以降は家計部門の鈍化が予想される

このように、自動車生産の回復に加え、節電特需やテレビの駆け込み需要を背景に、第3次産業活動指数は3ヶ月連続で前月比プラスとなった。

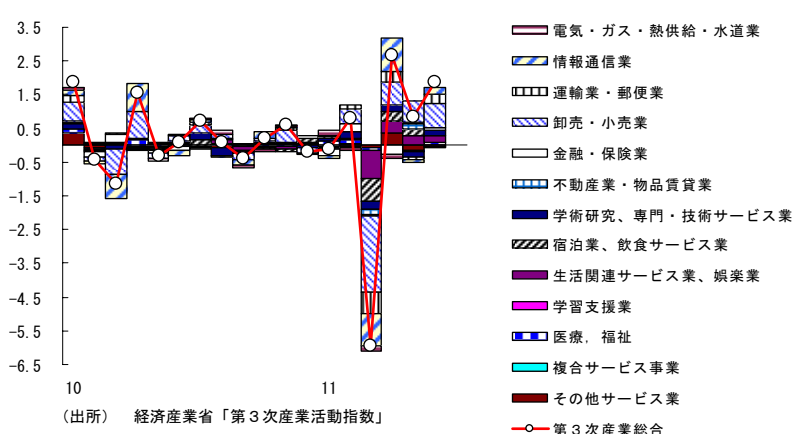
先行きについては、生産活動の持ち直しなどを背景に、第3次産業活動指数の回復トレンドは今後も続くものと予想される。ただし家計部門については、6月の商業販売統計によると小売販売額が既に震災前の水準まで回復しているため、自粛ムード緩和による小売業でのプラス効果が見込み難くなってきている。また、8、9月以降には、節電特需やテレビの駆け込み需要が一巡することが予想され、小売業を中心とした家計部門への下押し要因は数多い。一方で企業部門では、円高や海外景気の減速などの懸念はあるものの、予測指数では鉱工業生産の回復持続が示唆されているほか、復興需要の顕在化で建設業などでの上昇が期待でき、それらに関連するサービス業の指数も上昇基調で推移する公算が大きい。以上のように、8、9月以降は家計部門で伸びがやや鈍化するものの、企業部門で堅調な伸びが期待できることから、第3次産業活動指数は当面緩やかに回復していくと見られ、四半期ベースでも7－9月期は前期比プラスに持ち直すものと予測する。

2005年=100 第3次産業活動指数（季調値）

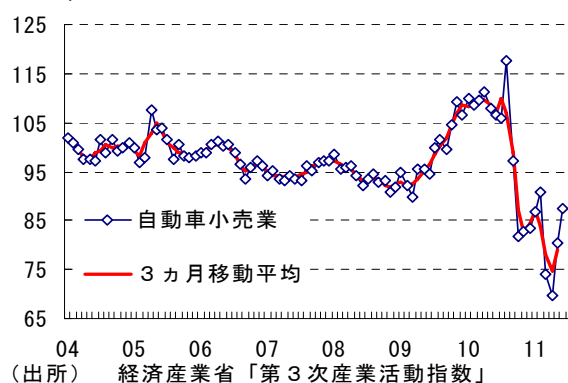


(%)

第3次産業活動指数前月比寄与度分解



2005年=100 自動車小売業（季調値）



部門別3ヶ月移動平均の推移

2005年=100

